

**国立大学法人 長岡技術科学大学**  
平成 27 年度第 2 回経営協議会議事要旨

日 時 平成27年 9 月 8 日（火） 15時00分～16時45分  
場 所 ホテルニューオータニ長岡（うめ）  
出席者 新原議長、縣委員、大貝委員、岡田委員、岸委員、五味委員、相岡委員、山崎委員、  
武藤委員、東委員、菅野委員、三上委員、中出委員、斎藤委員（議事の表決の委任  
による出席 池田委員、小畑委員、合田委員）  
欠席者 森委員  
陪席者 齋藤監事、滝上監事、福田附属図書館長  
事務局 総務部長、学長戦略課長、総務課長、財務課長、総務課課長補佐、財務課課長補佐、  
学長戦略課経営企画係長、総務課総務係長、財務課主計係長、総務課総務係員

議事に先立ち、議長から平成27年度第 1 回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

**1. 長岡技術科学大学基金の設置について**

菅野委員から資料 1 に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- 大学基金は従来からの学生支援のほか、教職員への支援として適用範囲を拡大することになるが、具体的な支援内容は決まっているか。
- 今後、大学基金運営委員会において検討していく。

報告事項

**1 新執行部について**

議長及び東委員から資料 2 に基づき、報告があった。

主な質疑応答は、以下のとおり

- 役員や管理職の女性比率が求められているが、大学としてどのように考えているか。
- 女性に執行部や管理職として活躍していただかなければと考えている。今後役員の任期等を考慮して、検討していく。

## 2 平成28年度概算要求について

菅野委員から資料3-1～3-4に基づき、報告があった。

主な質疑応答は、以下のとおり

○国立大学法人運営費交付金における3つの重点支援のうち、重点支援①を選択した理由は何  
か。

●技学に基づく人材を必要とする地域を「ものづくり地域」と定義し、産業集積地であって、  
ものづくりの根幹をなす産業が経済の中心となる地域、また、日本のものづくり企業が戦略  
的に海外へ進出している地域を対象としている。本学がある地域、日本の地域だけではなく、  
今後日本が展開していく世界の地域も対象として、重点支援①を選択した。

○本学における地域の考え方を地元に必要な説明をすることが必要である。

## 3 平成26事業年度財務諸表の承認について

菅野委員から資料4に基づき、報告があった。